

米国産一般流通用生鮮ばれいしょに関する説明資料

令和8年9月

農林水産省

1. 病害虫のリスクに応じた植物検疫措置

- 植物防疫法に基づき、国内農業に被害を及ぼすおそれのある病害虫に対し、我が国への侵入を防止するため、輸入禁止や検査などリスクに応じた管理措置を講じている。
- 病害虫は国・地域によって発生状況が異なることから、国・地域に応じて適用される措置を個別に設定。
- リスクが特に高い病害虫については、その付着する植物の輸入を禁止。相手国から輸入解禁要請があった場合には、科学的に妥当な侵入防止措置(殺虫処理等)をとることでリスクを適正に管理できるかについて、相手国と協議(検疫協議)。

【リスク管理措置の例】

1. 輸入禁止

・チチュウカイミバエ



【発生国】

ヨーロッパ、中南米、アフリカ、オーストラリア等

【付着する植物】

かんきつ類、さくらんぼ、もも、りんご、なし、ブルーベリー、ぶどう等

・ジャガイモシロシストセンチュウ



【発生国】

インド、ヨーロッパ、ロシア、米国、カナダ等

【付着する植物】

ばれいしょ、ナス等のナス科植物

侵入・まん延した場合の農業生産等への影響が高く、目視による検出が困難であり侵入の可能性が高い

↓
輸入を禁止

2. 目視検査

・バナナコナカイガラムシ



【発生国】

東南アジア、中南米、オーストラリア、米国等

【付着する植物】

バナナ、ミカン科、ウルシ科等

侵入・まん延した場合の農業生産等への影響はあるものの、目視による検出が容易

↓
輸入時における目視検査

2. 植物検疫の国際ルール

- WTOの「衛生植物検疫措置の適用に関する協定」(SPS協定)に基づき、病虫害の侵入防止のための措置を講じるにあたっては、
 - ① 科学的な原則に基づくこと、
 - ② 国内外で恣意的又は不当な差別をしないこと、
 - ③ 国際基準(※)がある場合には当該基準に基づくこと、等が必要。
- これらに従わない場合には、WTOの紛争解決手続きに付されるおそれ。
- 違反が認定された場合、是正勧告を受け、相手国から対抗措置が発動されるおそれ。

【WTO/SPS協定における主なルール】

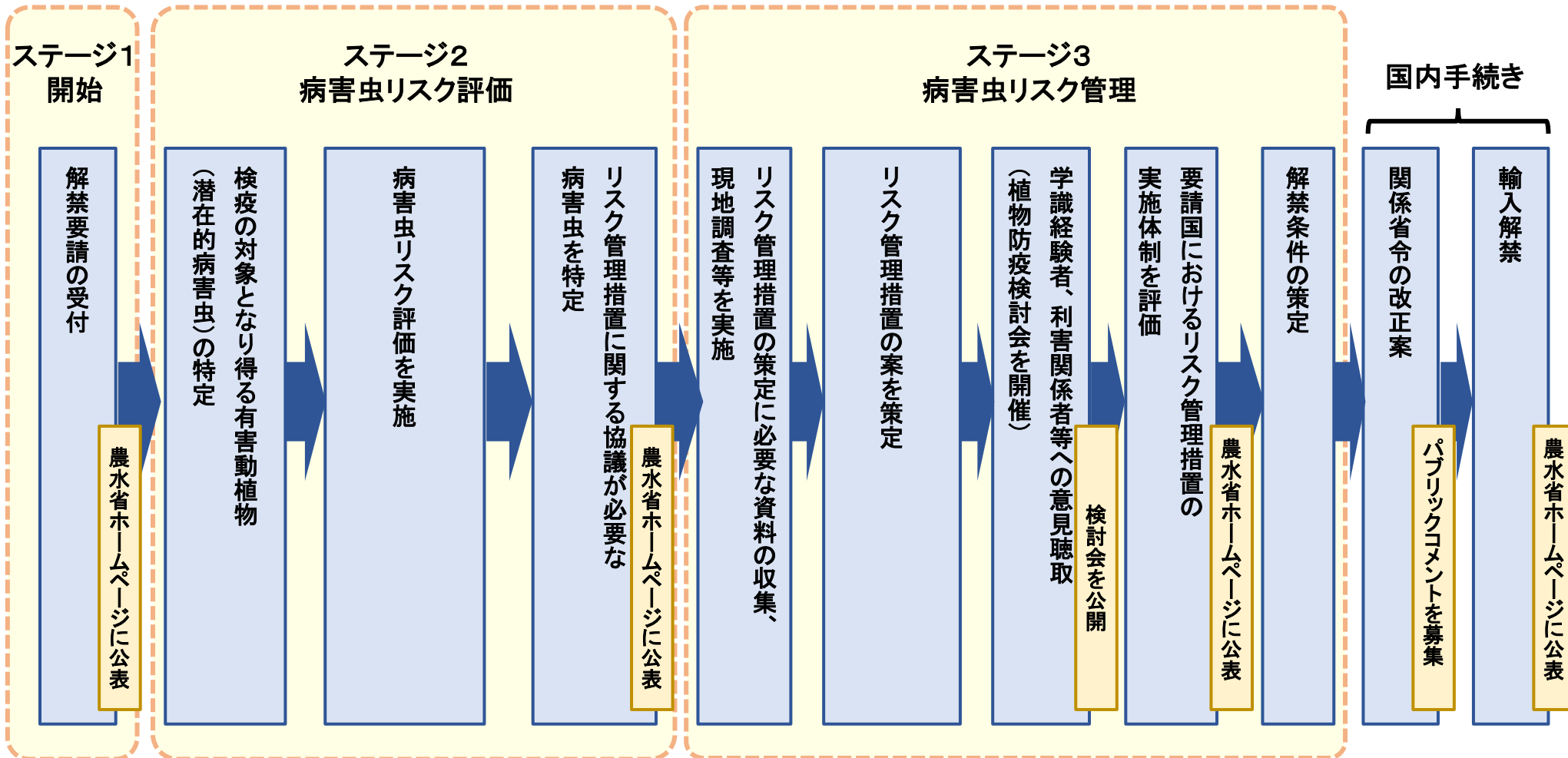
- ・ 検疫措置は科学的な原則に基づいてとる、十分な科学的根拠なしに維持しない(第2条の2)
- ・ 加盟国間及び国内外で恣意的又は不当な差別をしない、国際貿易に対する偽装した制限となるような態様で適用してはならない(第2条の3)
- ・ 国際基準(※)がある場合には、国際基準に基づいてとる(第3条の1)
- ・ 検疫措置の実施を確認し及び確保するための手続は、不当に遅延させてはならない(附属書C1)

(※)【国際植物防疫条約(IPPC)】

- ・ 植物や植物生産物に対する病虫害の国際間の移動を防止し、病虫害防除のための適切な措置をとるための手続きに関する国際的な取決め。1952年に発効し、185ヶ国・地域が加盟
- ・ SPS協定上の国際基準として、IPPC条約に基づく適正な検疫措置を適用するためのガイドライン(ISPM、現在47本)が策定されている。

3. 輸入解禁要請に関する標準的手続

- 我が国では、国際ルールに整合する形で、解禁に至る手続の公正の確保及び透明性の向上を図るため、標準的手続を策定・公表。



4. 病害虫のリスク評価

- 病害虫の侵入を効果的・効率的に防止するためには、病害虫の特性に応じた検疫措置を講じることが重要。
- 解禁協議の要請のあった植物を介して侵入する可能性のある病害虫（潜在的病害虫）を特定し、最新の文献、諸外国からの情報等を踏まえ、侵入・まん延の可能性や、まん延した場合の経済的被害を評価し、必要に応じて更なる病害虫リスク評価を実施。

ステージ2 病害虫リスク評価

検疫の対象となり得る有害動植物
（潜在的病害虫）の特定

病害虫リスク評価を実施

リスク管理措置に関する協議が必要な
病害虫を特定

農水省ホームページに公表

＜病害虫リスク評価の手法＞

病害虫リスクの要素

用途ごと

侵入の可能性

×

病害虫自体の

農林業への影響

定着の可能性

まん延の可能性

経済的重要性

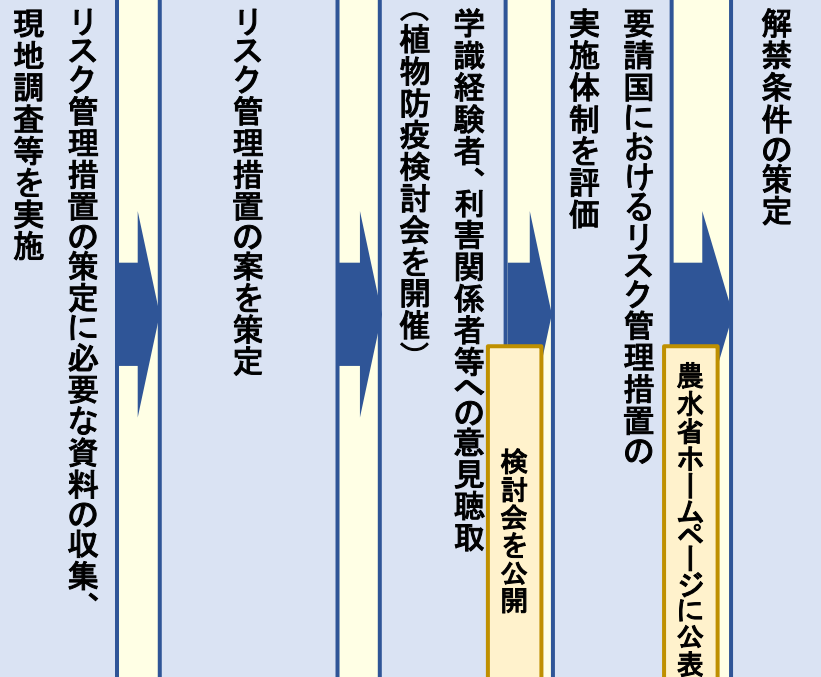
病害虫リスクの決定方法（イメージ）

		農林業への影響 （定着・まん延・経済的重要性）		
		高い	中程度	無視できる
侵入の 可能性	高い	高い	中程度	無視できる
	中程度	中程度	低い	無視できる
	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる

5. 病害虫リスク管理措置の設定

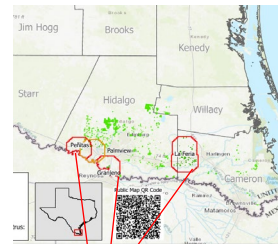
- 病害虫リスク評価の結果を踏まえ、有効性及び実行可能性の観点から検討し、病害虫ごとに、その特性に応じた検疫措置を設定。
- 相手国の実施体制や施設を確認するため、植物防疫官による現地確認を行っている。

ステージ3 病害虫リスク管理



【リスク管理措置の例】

①無発生地域での生産



この地域からの輸出は不可

相手国の検疫当局の責任のもと、対象病害虫が発生していないことが科学的根拠により証明され、かつその状態が維持されている地域での生産

②トラップ調査



誘引剤等を入れたトラップを設置し、対象病害虫の発生状況を調査

③温度処理



一定の温度帯で一定の期間保持することで殺虫

例：果実中心温度2.0℃以下で19日間保持

④輸出検査



検疫当局による目視や精密検定等によって、対象病害虫の有無を確認

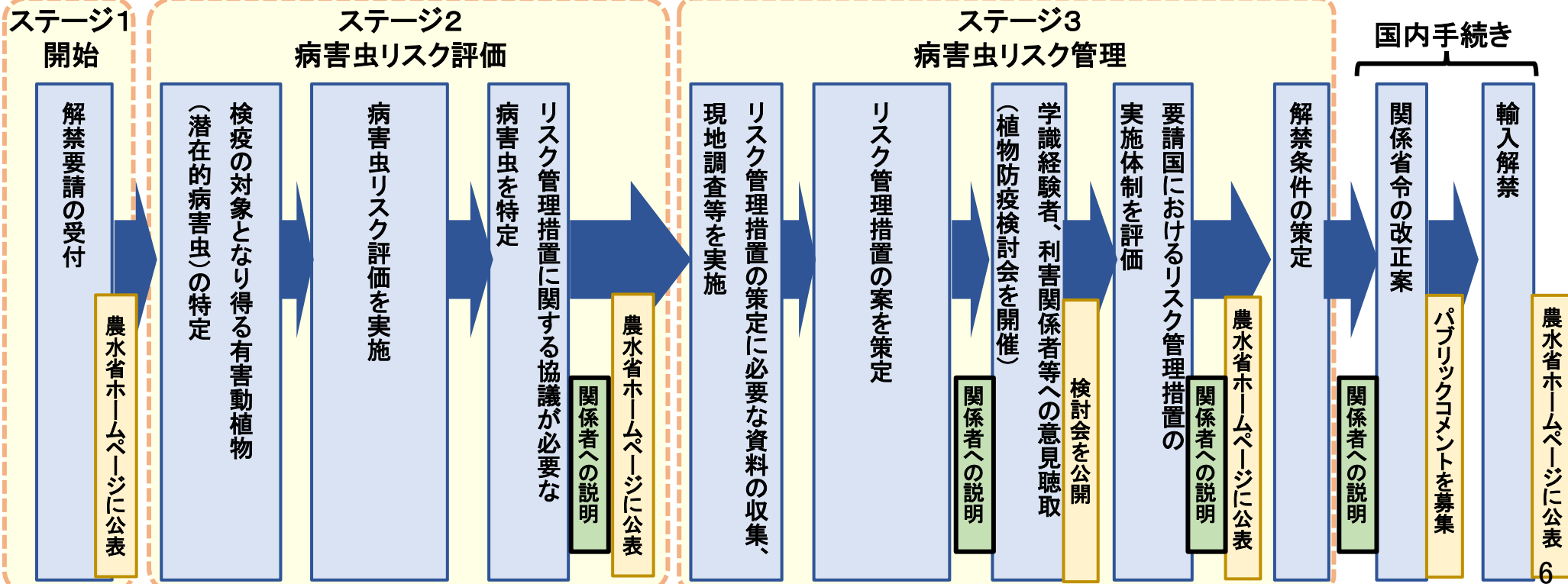
例：PCRによる遺伝子診断

6. 米国産生鮮ばれいしょの解禁要請に係る経緯

- かねてから米国は、米国産生鮮ばれいしょに対する日本の輸入禁止措置の解除を要請。
- ポテトチップ加工用に用途を限定し、閉鎖系によるリスク管理措置を条件として協議した結果、2006年に解禁。
- 2020年に米国側から一般流通用として改めて輸入解禁要請（米国は、東アジアでは韓国や台湾に対し一般流通用生鮮ばれいしょを輸出可能。）。

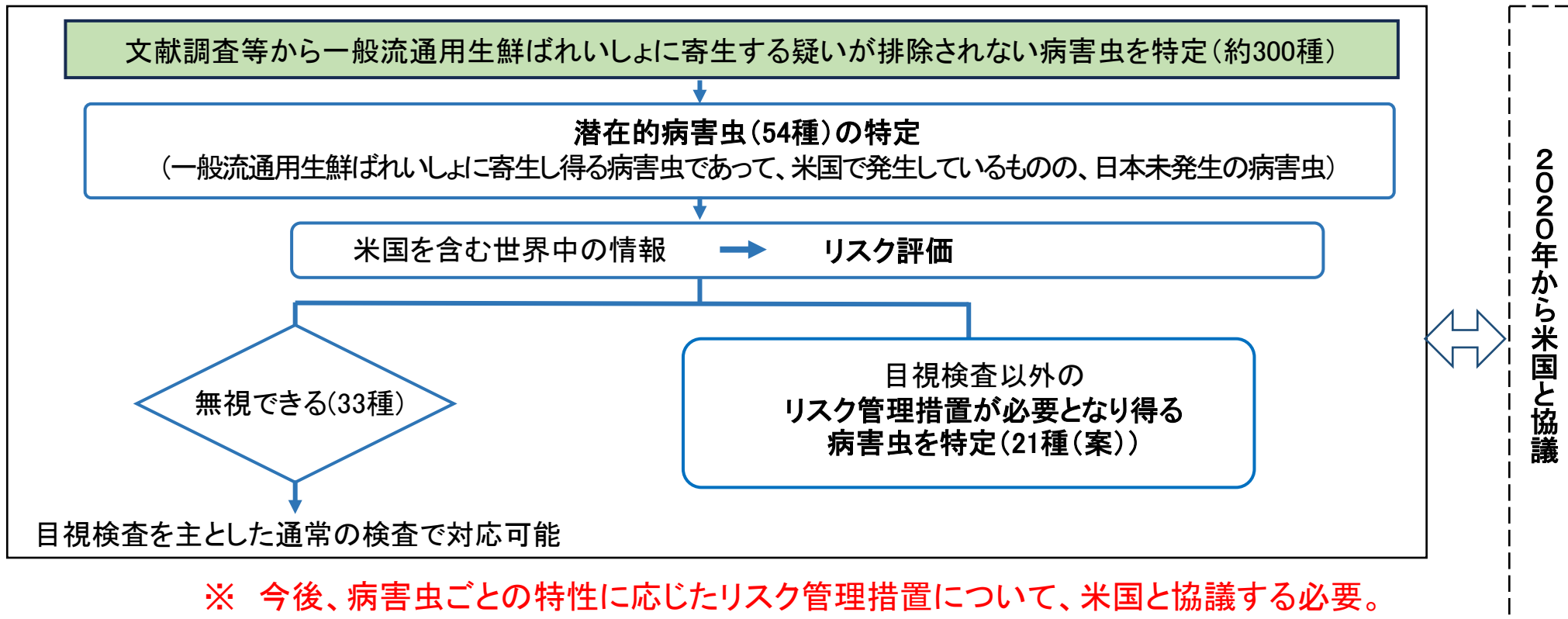
【標準的手続上の進捗】

現在実施中
(本ステージに係る
科学的検討は終了)



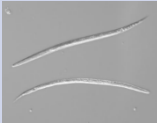
7. 一般流通用生鮮ばれいしょに係るリスク評価

- 米国で栽培されているばれいしょに寄生し得る病害虫約300種の中から、米国で発生しているものの、日本で未発生等の病害虫54種を潜在的病害虫として特定。
- これらに対し、米国を含む世界中の情報から、我が国への侵入の可能性や侵入した際の経済的被害等を評価。目視検査で対応可能なもの以外について、改めて病害虫ごとに詳細な情報を収集し、リスクを評価。その上で、54種の中から、リスク管理措置が必要となり得る病害虫を特定し公表。



8. 米国とリスク管理措置の協議を行う必要がある病害虫(21種)(案)

- リスク評価の結果に基づき、リスク管理措置の協議を行う必要がある病害虫として21種を特定。

病害虫名	特性
コロラドハムシ ※出典：EPP0 	・主に葉を加害する。
ジュウイチホシウリハムシ ※出典：EPP0 	・主に幼虫が塊茎を摂食する可能性がある。 ・成虫は風に乗って長距離移動することが可能。
シロヘリクチブトゾウムシ <i>Epitrix cucumeris</i> <i>Epitrix subcrinita</i> <i>Epitrix tuberis</i> } (ハムシ科) <i>Otiorhynchus cribricollis</i> (ゾウムシ科) ※出典：EPP0 	・主に幼虫が塊茎を摂食する可能性がある。 ・長距離移動は行わない。
ジャガイモシストセンチュウ ジャガイモシロシストセンチュウ ※出典：USDA 	・虫体前部を植物体に挿入して寄生し定着。 ・シストの状態で長期間生存可能。
コロンビアネコブセンチュウ バナナネモグリセンチュウ <i>Meloidogyne enterolobii</i> (センチュウ) ※出典：植物防疫所 	・植物組織内に入り込み摂食。 ・摂食された部分は壊疽等が発生する。
ブドウオオハリセンチュウ <i>Belonolaimus longicaudatus</i> (センチュウ) ※出典：CABI 	・植物組織を外部から摂食。 ・摂食された部分は壊疽等が発生する。
<i>Polyscytalum pustulans</i> (菌類) ※出典：EPP0 	・土壌伝染のほか、貯蔵庫内で分散する。 ・貯蔵開始から1～2か月後に症状が出ることもある。
<i>Candidatus Liberibacter solanacearum</i> (細菌) ※出典：EPP0 	・虫媒伝染により分散する。
<i>Candidatus Phytoplasma trifolii</i> (ファイトプラズマ) <i>Candidatus Phytoplasma americanum</i> (ファイトプラズマ) ※出典：植物防疫所 	・虫媒伝染により分散する。
Pepino mosaic virus(ウイルス) Potato yellow dwarf virus(ウイルス) Potato spindle tuber viroid(ウイロイド) ※出典：植物防疫所 	・虫媒伝染、接触伝染、種子伝染等により分散する。

9. ポテトチップ加工用ばれいしょの検疫条件①

- 現在、米国産生鮮ばれいしょは、以下を主な条件として輸入が認められている。
 - ① ジャガイモシストセンチュウ(Gr)及びジャガイモシロシストセンチュウ(Gp)の無発生地域で生産
 - ② 密閉型コンテナにより輸入され、輸入後速やかに加工処理施設まで輸送
 - ③ 加工処理施設は、港頭地域内に所在し、加熱加工処理等を的確に行える能力を保有
 - ④ 摂氏130度以上の油に2分以上浸漬当該措置により、用途はポテトチップ加工用に限定。

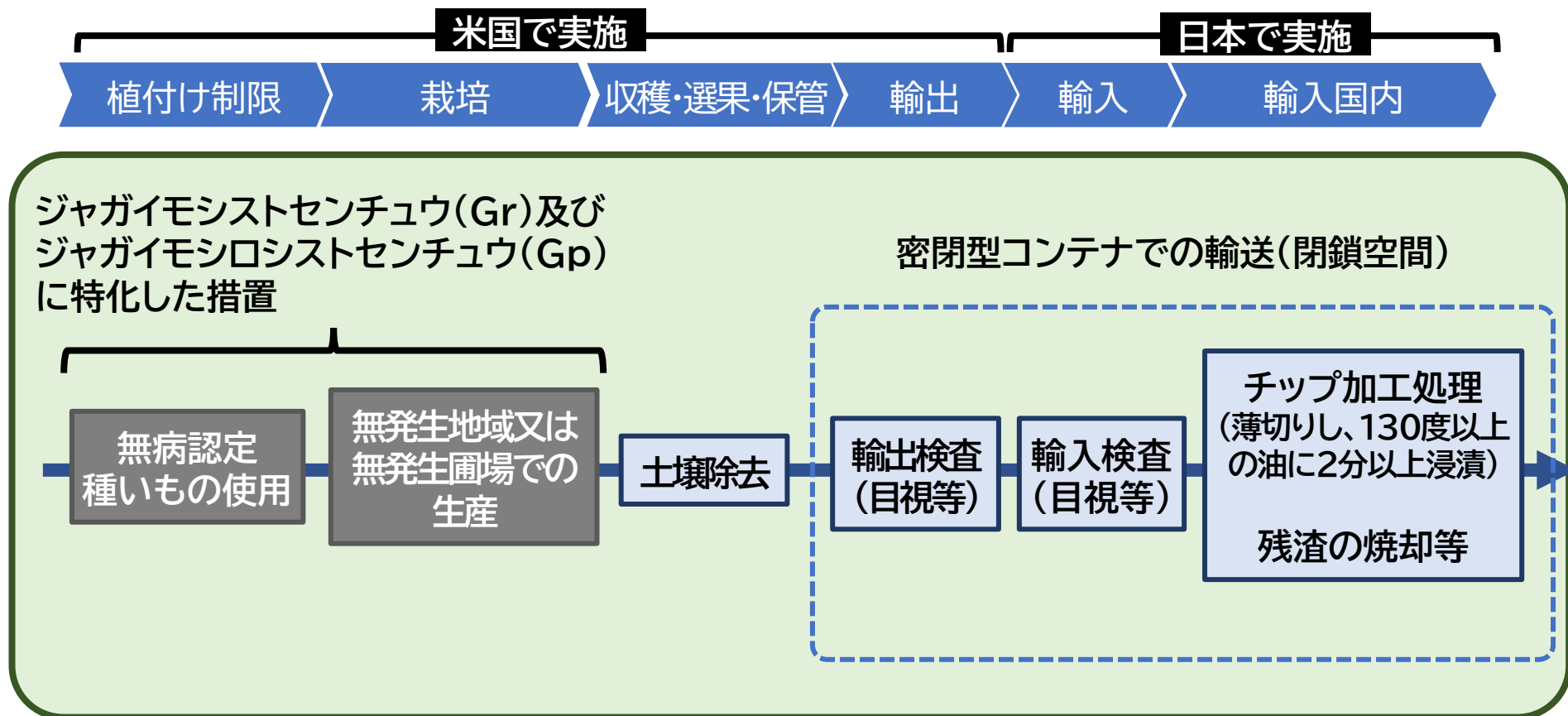
【ポテトチップ加工用ばれいしょの搬入・加工の流れ】



一般流通用は加工用と異なり、栽培に使われる可能性もあり得るため転用されるリスクを加味したリスク管理措置が必要。

10. ポテトチップ加工用ばれいしょの検疫条件②

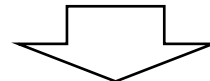
- ポテトチップ加工用の生鮮ばれいしょの管理措置は、閉鎖空間における処理(病害虫の不活化)を前提に設定されている。



一般流通用生鮮ばれいしょは、上記措置が前提とならないことから、病害虫が侵入しないよう十分なリスク管理措置が米国側で実施される必要。

11. 日本の懸念する病害虫に対する韓国及び台湾の検疫措置

目視検査以外のリスク管理措置が必要となり得るものであり、日本として、今後、米国とリスク管理措置の協議を行う必要がある病害虫(案)	韓国の主なリスク管理措置 (*) 特別なリスク管理措置を要する病害虫	台湾の主なリスク管理措置
コロラドハムシ	通常の輸出入検査	綿密な輸出検査(例:切開)又は殺虫処理
ジュウイチホシウリハムシ	通常の輸出入検査	—
シロヘリクチブトゾウムシ <i>Epitrix cucumeris</i> <i>Epitrix subcrinita</i> } (ハムシ科) <i>Epitrix tuberis</i> <i>Otiorhynchus cribricollis</i> (ゾウムシ科)	通常の輸出入検査 通常の輸出入検査 通常の輸出入検査 通常の輸出入検査 —	綿密な輸出検査(例:切開)又は殺虫処理 — — — —
ジャガイモシストセンチュウ ジャガイモシロシストセンチュウ	無発生地域での生産 無発生地域での生産	無発生地域での生産 —
コロンビアネコブセンチュウ バナナネモグリセンチュウ <i>Meloidogyne enterolobii</i> (センチュウ)	綿密な輸出検査(例:切開)(*)(★) — —	— — (既発生)
ブドウオオハリセンチュウ <i>Belonolaimus longicaudatus</i> (センチュウ)	— —	— —
<i>Polyscytalum pustulans</i> (菌類)	通常の輸出入検査	—
<i>Candidatus Liberibacter solanacearum</i> (細菌)	発芽抑制剤、媒介昆虫の栽培地検査、化学的検定(*)	綿密な輸出検査(例:切開)
<i>Candidatus Phytoplasma trifolii</i> (ファイトプラズマ) <i>Candidatus Phytoplasma americanum</i> (ファイトプラズマ)	(既発生) 綿密な輸出検査(例:切開)(*)	— —
Pepino mosaic virus(ウイルス) Potato yellow dwarf virus(ウイルス) Potato spindle tuber viroid(ウイロイド)	通常の輸出入検査 通常の輸出入検査 無発生地域での生産(*)	— — —



(★) 韓国当局からの聞き取りによれば、上記管理措置の導入前に、韓国側の輸入検査での検出事例があるとのこと。

我が国における発生病害虫の種類や栽培・流通の実態等を踏まえ、病害虫の侵入による国内産地への被害が生じないよう十分なリスク管理措置を米国に求めるべく、今後、しっかりと米国と協議。

各国のばれいしょ関連データ

日本のばれいしょをめぐる状況 ①

○ばれいしょの需給状況

① 国内生産量	230万トン
② 輸入量(生いも換算)	120万トン
③ 輸出量(生いも換算)	1万トン
④ 国内消費仕向量(①+②-③)	350万トン ※(自給率66%)

出典：食料需給表（R6年度概算）
※①～③と④との不一致は四捨五入の端数処理による。

○国内生産量の用途別内訳

国内生産量	230 万トン
一般流通用	53 万トン (23%)
加工用	61 万トン (27%)
でん粉用	72 万トン (31%)
種子用・その他用	44 万トン (19%)

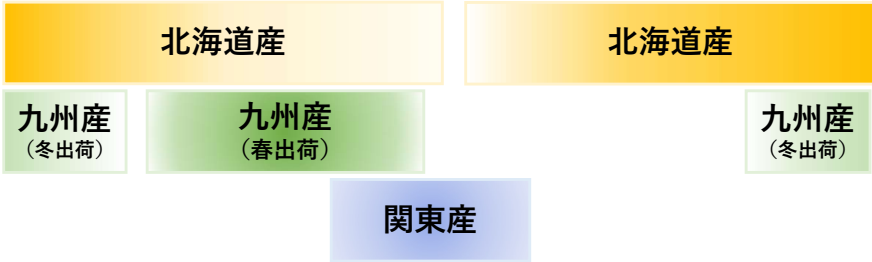
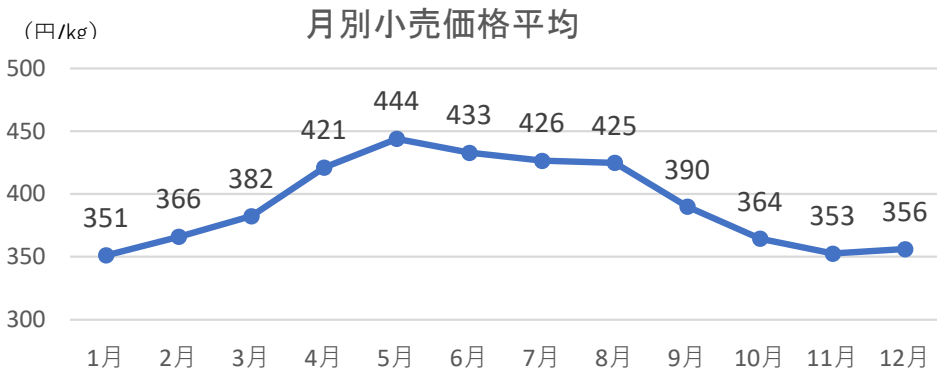
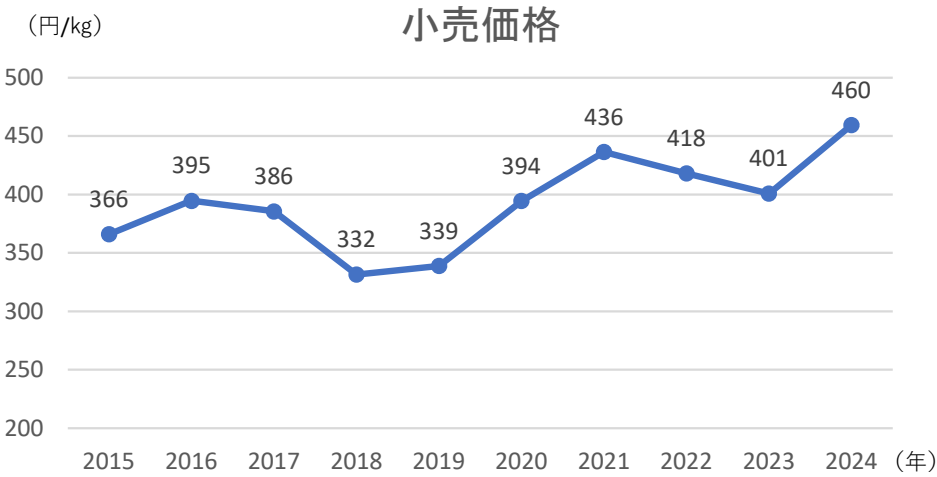
出典：食料需給表（R6年度概算）、地域作物課調べ（都道府県報告（R6年度概算））

○ばれいしょの国内生産状況

	生産量		産出額 (R5)	経営体数 (R2)
	(R6)	一般流通用		
全 国	万トン 229.9 (100 %)	万トン 52.9 (100 %)	億円 1,087	戸 40,371
北海道	187.0 (81 %)	22.2 (42 %)	588	7,474
鹿児島県	8.4 (4 %)	7.3 (14 %)	115	3,182
長崎県	7.4 (3 %)	7.4 (14 %)	115	1,817
茨城県	5.0 (2 %)	1.0 (2 %)	32	1,477
千葉県	2.7 (1 %)	1.5 (3 %)	27	1,741

出典：食料需給表（R6年度概算）、生産農業所得統計（R5）、農林業センサス（2020年）、
地域作物課調べ（都道府県報告（R6年度概算））

○ばれいしょ小売価格



出典：小売物価統計調査（総務省）
※2015年～2024年の全国の月別平均価格を算出

日本のばれいしょをめぐる状況 ②

○ばれいしょ・ばれいしょ加工品 の輸入量（生いも換算）

（単位：万トン）

国名	生鮮 （チップ用）	加工品	計	割合※
米国	3.9	66.3	70.2	58.2 %
ベルギー	—	9.4	9.4	7.8 %
中国	—	12.4	12.4	10.2 %
オランダ	—	9.9	9.9	8.2 %
カナダ	—	5.1	5.1	4.2 %
その他	—	13.3	13.3	11.0 %
合計	3.9	116.5	120.4	100.0 %

出典：貿易統計（2024年度）

※四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

○米国からの輸入量内訳（生いも換算）

（単位：万トン）

品目名	輸入量	割合
冷凍品（フレンチフライ等）	57.2	81.5 %
フレーク・マッシュ	8.8	12.5 %
生鮮（チップ用）	3.9	5.6 %
その他	0.3	0.4 %
合計	70.2	100 %

出典：貿易統計（2024年度）

※日米貿易協定により、生ばれいしょ、冷凍加工品等ほとんどの関税率は既に無税
（マッシュポテトとばれいしょの粉、フレークなどは2028年から無税）

※四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

米国のばれいしょをめぐむ状況 ①

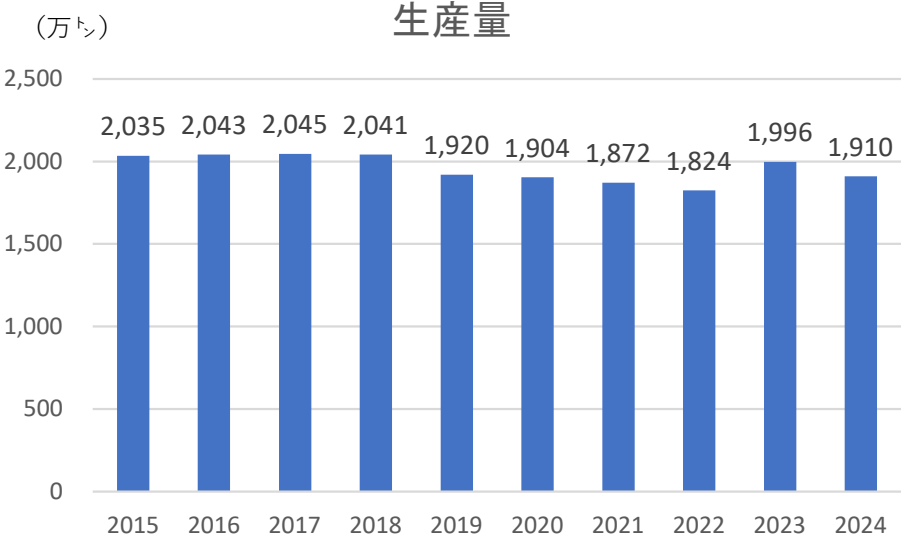
○ばれいしょ生産量

(単位：万ト)

年	生産量	加工用		
		一般流通用	冷凍フレンチフライ	
2015	2,035	503	1,236	691
2016	2,043	515	1,297	712
2017	2,045	498	1,280	707
2018	2,041	483	1,312	740
2019	1,920	444	1,251	737
2020	1,904	459	1,226	706
2021	1,872	429	1,227	724
2022	1,824	416	1,204	711
2023	1,996	452	1,287	734
2024	1,910	451	1,222	683

出典：米国農業統計（NASS）

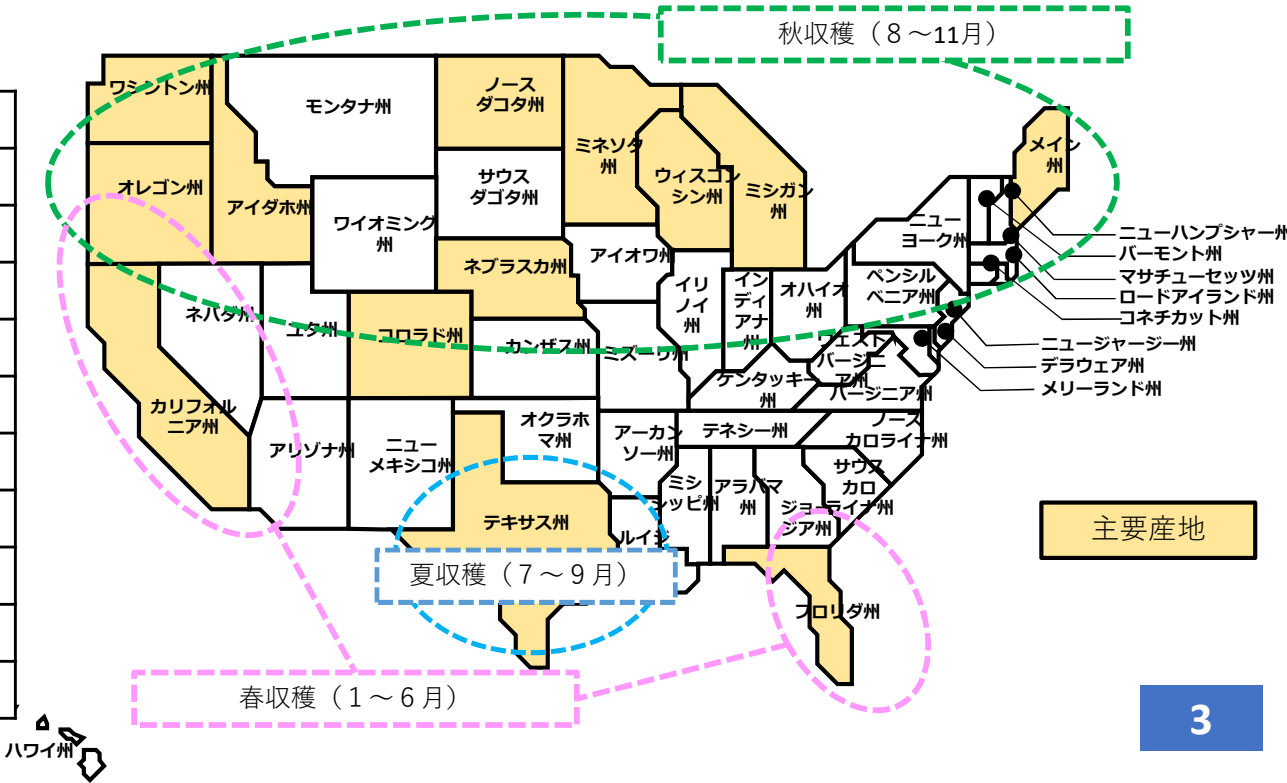
※内訳は生鮮一般流通用、加工用のみ記載し、種子用、減耗等の記載は省略。



○ばれいしょ主産地

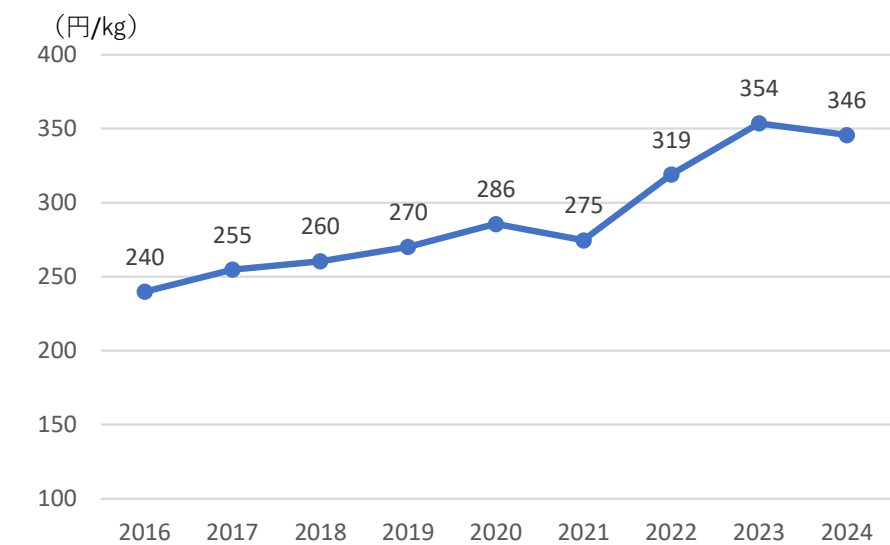
	州	量 (万ト)	シェア
1 位	アイダホ州	613	32.1%
2 位	ワシントン州	449	23.5%
3 位	ウィスコンシン州	120	6.3%
4 位	オレゴン州	119	6.2%
5 位	ノースダコタ州	115	6.0%
6 位	コロラド州	100	5.2%
7 位	ミシガン州	93	4.8%
8 位	メイン州	83	4.4%
9 位	ミネソタ州	81	4.2%
10 位	ネブラスカ州	46	2.4%

出典：米国農業統計（NASS 2024年データ）



米国のばれいしょをめぐる状況 ②

○ばれいしょ小売価格の推移



出典：米国労働統計局（U.S.BUREAU OF LABOR STATISTICS）
生鮮用ばれいしょ、白（品種関係なし）、米国各都市、単純年平均
各年の価格はUSD = 159.66JPY（2026.6.1現在）で円換算

○ばれいしょ品種の生産状況、特徴

品種系統	面積比 2024年	特徴
ラセット系	71%	・ 中型～大型、楕円形・長方形 ・ 肉色は白 ・ フレンチフライ、ベイクドポテトなど
ホワイト系	17%	・ 小型～中型、丸型・楕円形 ・ 白色や黄褐色の皮、肉色は白 ・ フライ、マッシュポテトなど
レッド・ブルー系	8%	・ 小型～中型、丸型など様々 ・ 薄紅色、紫の皮、肉色は白、紫など ・ サラダ、煮込みなど
イエロー系	4%	・ 小型～大型、丸型・楕円形 ・ 皮は淡褐色、黄色、肉色は黄色 ・ ベイクド、マッシュポテトなど

出典：USDA Potatoes 2024 Summary、米国ポテト協会HP

○ばれいしょ・ばれいしょ加工品の輸出・輸入状況

（１）輸出状況（生いも換算）

（単位：万トン）

国名	生鮮	加工品	計	割合
メキシコ	26.4	58.8	85.2	26.1 %
日本	4.2	69.1	73.3	22.4 %
カナダ	13.2	30.7	43.9	13.4 %
韓国	1.8	19.4	21.2	6.5 %
フィリピン	1.8	13.4	15.2	4.7 %
その他	12.1	75.9	88.0	26.9 %
合計	59.4	267.3	326.7	100 %

出典：USDA FAS（2024年）（四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。）

（２）輸入状況（生いも換算）

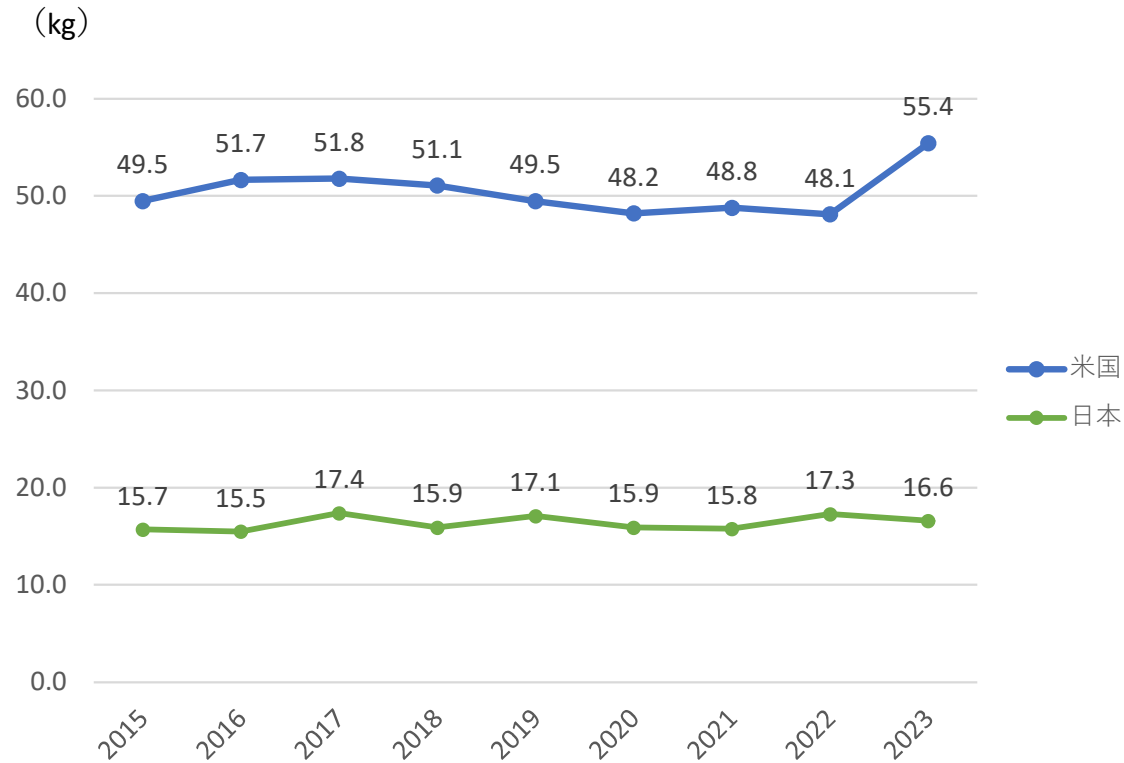
（単位：万トン）

国名	生鮮	加工品	計	割合
カナダ	53.8	320.3	374.0	74.6 %
ベルギー	0	39.2	39.2	7.8 %
メキシコ	0	34.8	34.8	7.0 %
ドイツ	0	17.1	17.1	3.4 %
オランダ	0	11.7	11.7	2.3 %
その他	0.0※1	24.3	24.3	4.9 %
合計	53.8	447.4	501.2	100 %

出典：USDA FAS（2024年）（四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。）
※1：100 t

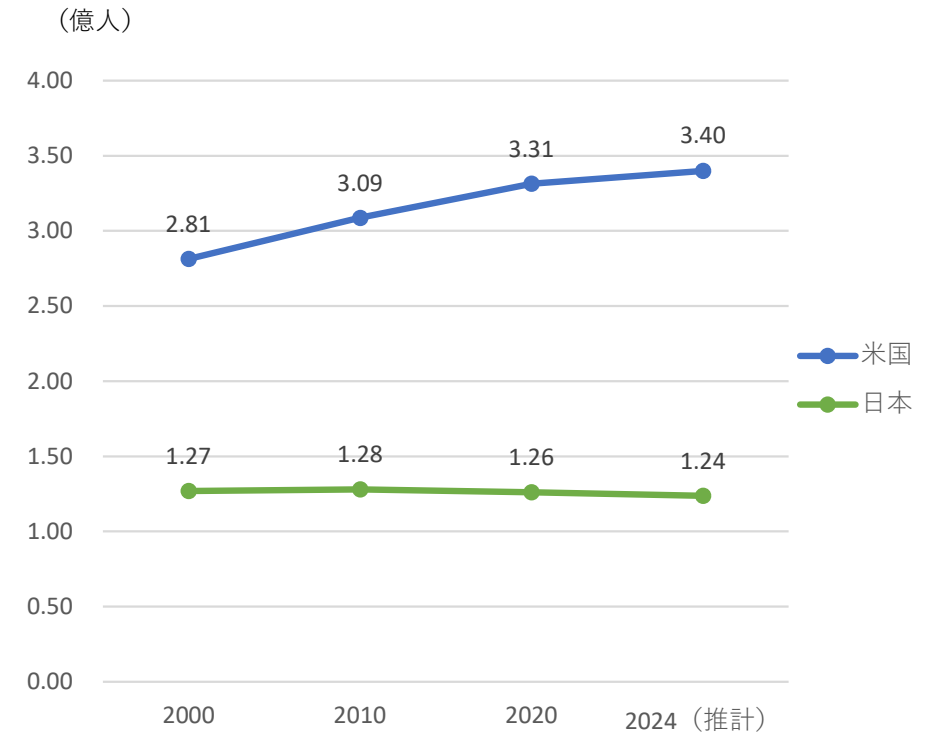
米国のばれいしょをめぐり状況 ③

○ 1人当たりばれいしょ消費量の推移（米国と日本）



出典：FAO STAT、食料需給表

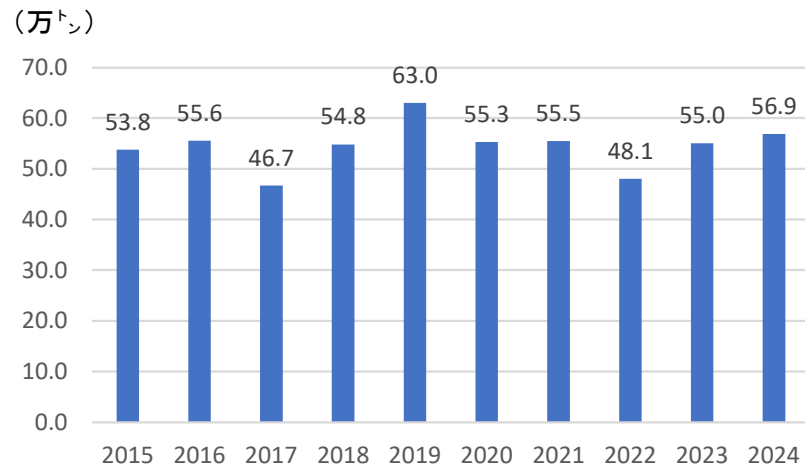
○ 人口の推移（米国と日本）



出典：U.S.Census Breau、総務省統計局

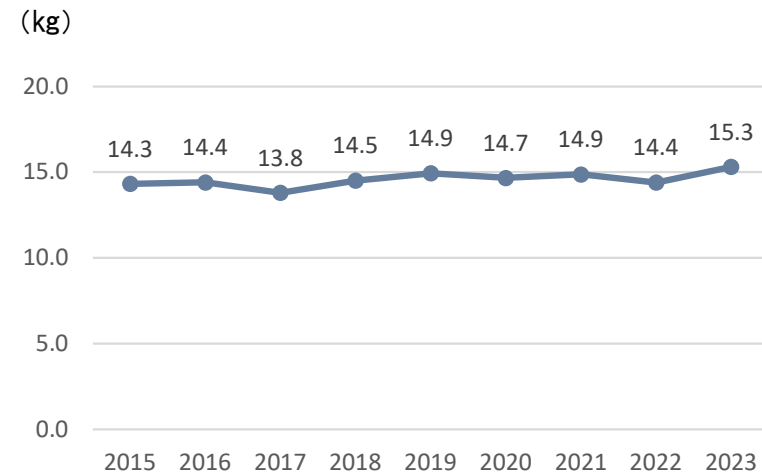
韓国のばれいしょをめぐる状況①

○ばれいしょ生産量



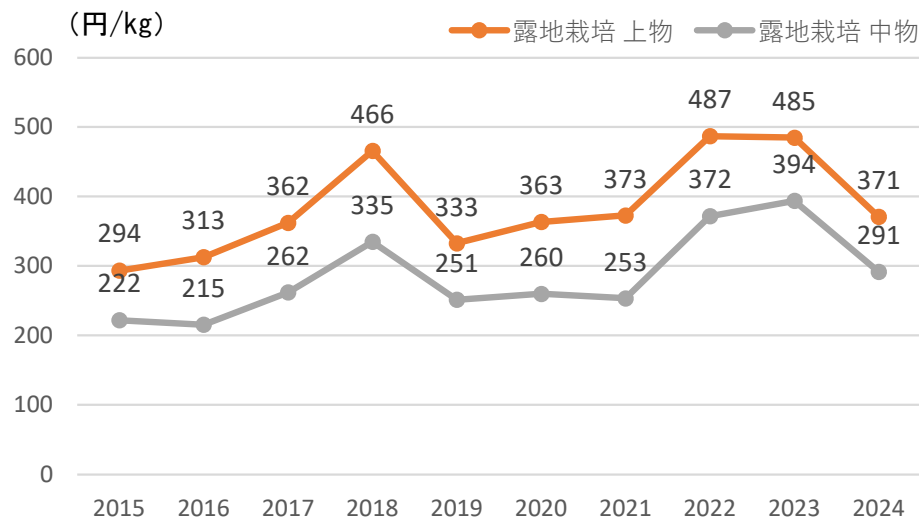
出典：FAO STAT

○1人当たりばれいしょ消費量の推移



出典：FAO STAT

○ばれいしょ小売価格の推移



出典：KAMIS 韓国農水産食品流通公社サイト

各年の価格はKRW=0.1056JPY (2026. 6. 1現在) で円換算

(参考) ばれいしょの店頭販売事例



米国産販売価格 418円/kg※



韓国産販売価格 668円/kg※



※在韓国日本国大使館より提供 2026. 04. 16 Costco

米国産 11,890ウォン/袋 (3kg) = 3,963ウォン/kg → 418円/kg

韓国産 18,990ウォン/袋 (3kg) = 6,330ウォン/kg → 668円/kg

(価格はKRW=0.1056JPY (2026. 6. 1現在) で円換算)

韓国のばれいしょをめぐる状況②

○ばれいしょ・ばれいしょ加工品の輸入状況（生いも換算）

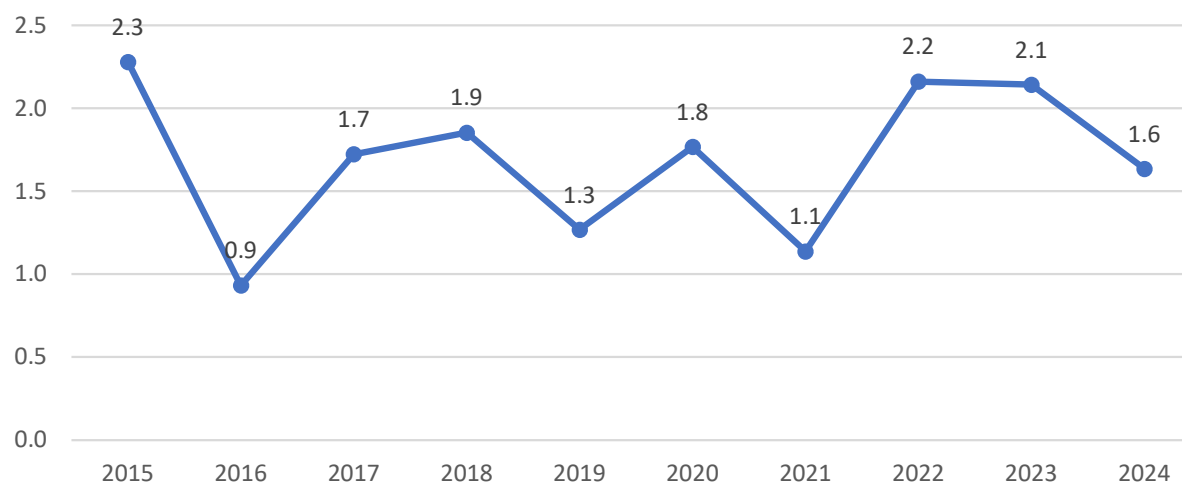
（単位：万トン）

国名	生鮮 （冷蔵含む）	加工品	計	割合
中国	0.0	24.3	24.3	28.1 %
アメリカ	1.6	19.7	21.4	24.8 %
ベルギー	0.0	6.5	6.5	7.5 %
マレーシア	0.0	5.6	5.6	6.4 %
ベトナム	0.0	5.5	5.5	6.4 %
オランダ	0.0	2.8	2.8	3.3 %
オーストラリア	2.4	0.2	2.6	3.0 %
その他	0.0	17.7	17.7	20.5 %
合計	4.1	82.2	86.3	100 %

出典：Korea Customs Service TRADE STATISTICS（2024年）四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

○米国からの生鮮ばれいしょ（冷蔵含む）の輸入状況の推移

（万トン）

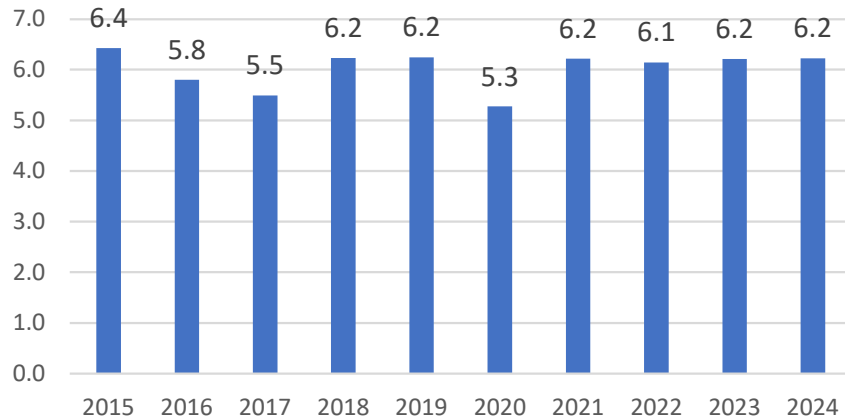


出典：Korea Customs Service TRADE STATISTICS
※ 生鮮及び冷蔵の数量を含む

台湾のばれいしょをめぐり状況①

○ばれいしょ生産量

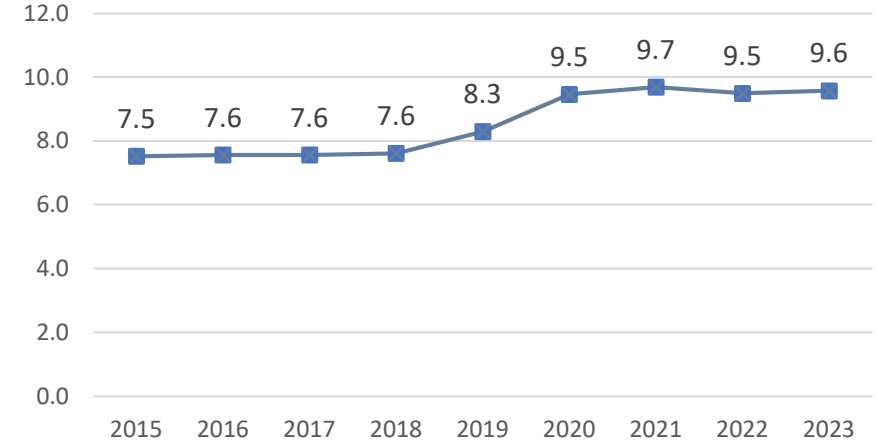
(万トン)



出典：FAO STAT

○1人当たりのばれいしょ消費量の推移

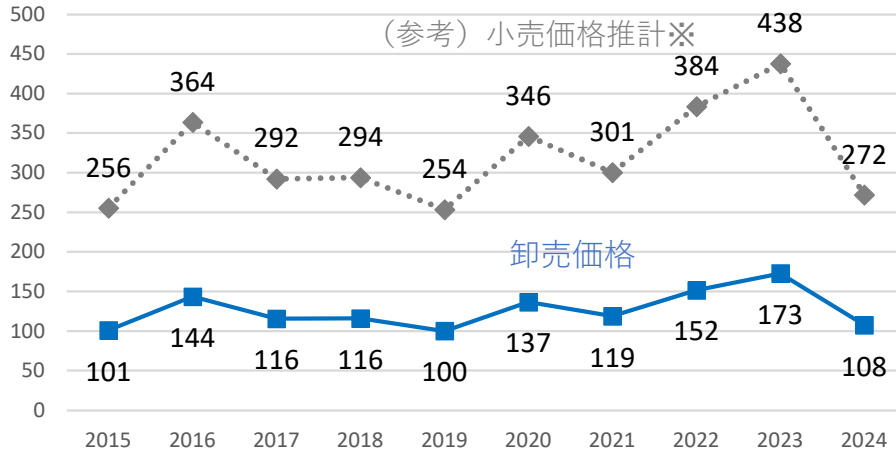
(kg)



出典：FAO STAT

○ばれいしょ卸売価格の推移

(円/kg)



出典：農糧署農産物市場情報システム（台北第一果菜批發市場データ）

※台湾の小売価格統計値が確認できないため、日本の統計値に基づくばれいしょ卸売価格と小売価格の差額平均2.5倍を台湾の卸売価格に乗じて小売価格推計値を算出。

各年の価格はTWD=5.0944JPY（2026.6.1現在）で円換算

（参考）ばれいしょの店頭販売事例



米国産販売価格 402円/kg※

台湾産販売価格 382円/kg※

※ 日本台湾交流協会より提供 2026.04.13 家樂福（カルフル）天母店
 米国産（アイダホ産）ばれいしょ 1袋（1kg） 79台湾元＝402円
 台湾産ばれいしょ 1袋（1kg） 75台湾元＝382円
 （価格はTWD=5.0944JPY（2026.6.1現在）で円換算）

台湾のばれいしょをめぐり状況②

○ばれいしょ・ばれいしょ加工品の輸入状況（生いも換算）

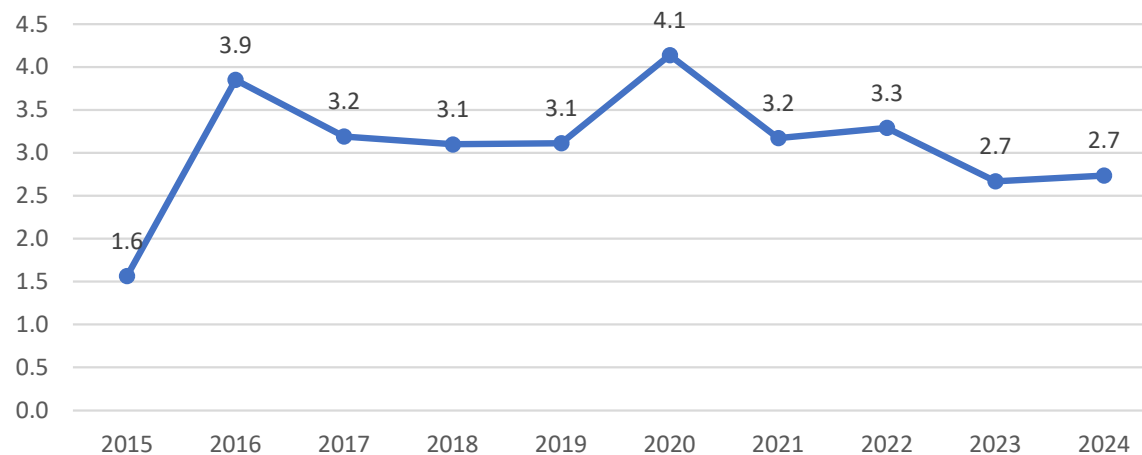
（単位：万ト）

国名	生鮮 （冷蔵含む）	加工品	計	割合
アメリカ	2.7	9.6	12.3	60.2 %
カナダ	0.0	2.3	2.3	11.2 %
ベルギー	0.0	1.7	1.7	8.4 %
インド	0.0	1.5	1.5	7.2 %
オランダ	0.0	0.7	0.7	3.2 %
オーストラリア	0.3	0.0	0.4	1.7 %
その他	0.0	1.7	1.7	8.1 %
合計	3.1	17.4	20.4	100 %

出典：關港貿單一窗口 (Customs-Port-Trade Single Window)（2024年）四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

○米国からの生鮮ばれいしょ（冷蔵含む）の輸入状況の推移

（万ト）



出典：關港貿單一窗口 (Customs-Port-Trade Single Window)
※生産及び冷蔵の数量含む。